

Chigasaki Municipal Hospital 【Newsletter】

市立病院 通信

令和5年2月1日発行 第9号

当院の取り組みや健康に関する様々な情報をお知らせします

茅ヶ崎市立病院
～ 健やか・共創 ～

〒253-0042 本村5-15-1

☎0467-52-1111

茅ヶ崎市立病院

検索



患者さんとそのご家族、そして地域に寄り添った医療を進めていくために
患者支援センター・リニューアル

患者支援センターのスタッフ
※撮影時のみマスクを外しています。

ご相談ください。 さらに充実したサポートで 皆さんの健やかな暮らしをお手伝いします。

「茅ヶ崎市立病院は地域医療支援病院として、市民の医療ニーズに的確に対応すること」を目的にしており、平成30年8月に患者支援センターが設置されました。院内での支援や相談はもちろん、市内の診療所や地域包括支援センター、訪問看護ステーションなどの医療・福祉関係者とともに、患者さんの治療やその後の生活に関わるさまざまなサポートを行っています。令和5年1月から部屋をリニューアルし、さらに活動を充実していきます。患者支援センターの役割と今後の展開について、益原センター所長と江崎担当長に聞きました。

入院時や日々の 健やかな暮らしをサポート

患者支援センターはどんな仕事をしているのですか。

入退院支援と総合相談、地域医療連携が3本の柱となり、看護師や社会福祉士など約30人の職員が、相談員として患者さんの不安や困りごとをお聞きして、解決のお手伝いをしています。そして、患者さんをはじめ、市民の皆さんに健やかな毎日を送っていただけるように、地域医療支援病院として地域医療の推進に努めています。



新しくなった患者支援センター

具体的に入退院支援とはどのようなことをしているのですか。

入院支援では、患者さんが入院する際の入院手続きや入院生活のことをきめ細やかに患者さんに説明します。この他に病歴をお聞きしたり、薬の飲み合わせやアレルギー反応を防ぐために内服薬の確認をします。生活習慣の中に病気を引き起こす原因となるリスク因

子があるかを聞き取りしたり、また、クリニカルパス（※1）を使って療養生活の不安を取り除き、治療に専念できるよう、入院される患者さんをサポートします。お聞きした情報は医師、看護師、医療技術員などと共有し、患者さんに寄り添った支援につなげていきます。退院支援は、療養型の病院への転院や施設入所をお手伝いしたり、独居、認知症、老老介護問題など様々な問題を抱える患者さんには、地域包括支援センターや訪問看護ステーションなど地域の関係機関と連携し、退院後、住み慣れた場所で安心して生活が送れるように支援しています。

信頼できる情報で 納得いく医療をお手伝い

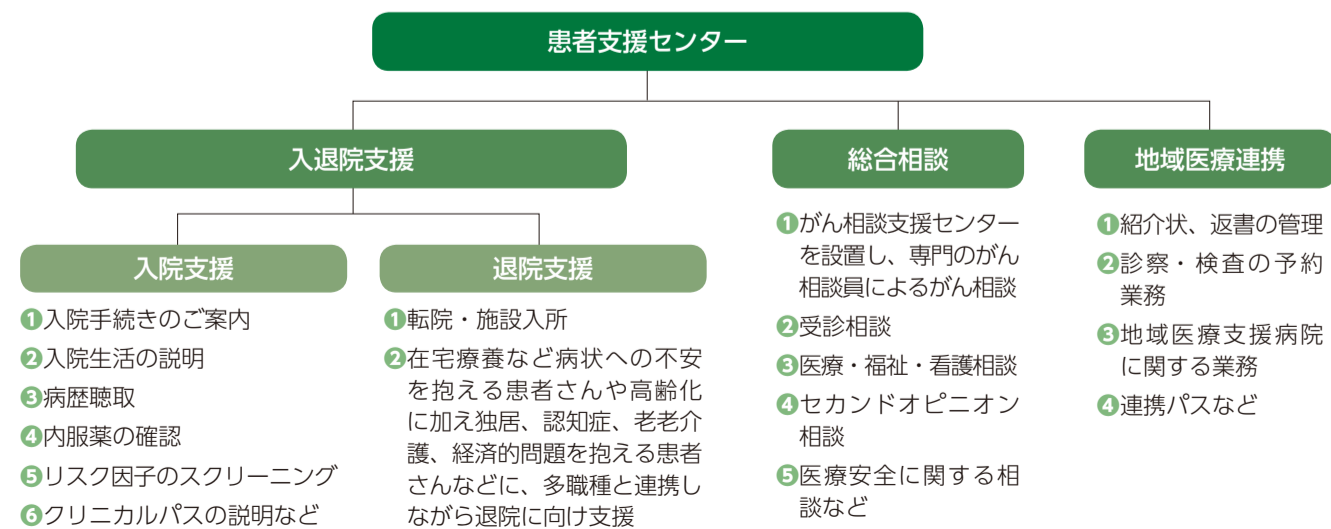
総合相談について教えてください。

受診相談、医療・福祉・看護相談、セカンドオピニオン相談、医療安全に関する相談など幅広い相談を受けています。医療に関する疑問や不安はなんでも相談してください。患者さんの気持ちを大切にしたり取り組みを行っています。

患者支援センターには患者さんや市民からの相談が多いと聞きますが、どのような種類の相談が多いのですか。

患者支援センターに寄せられる相談は年々増加しており令和3年度は約1万5千件を数えるようになりました。相談の内容は図でもわかるように、「退院相談」が最も多く6割を占めます。これは退院後の自宅などでの療養の方法や転院のための療養型病院の紹介などです。次いで多いのは、入院患者さんの治療の方法や療養期間などについての「治療相談」が約1割、さらに「外来患者さん医療相談」でセカンドオピニオンやどんな医療を受

患者支援センターの仕事



ければいいかななどの相談、そして、公的医療保険制度や介護保険などのことについてセンターの社会福祉士が主となって対応する「社会福祉制度」の相談や治療法の選択や療養期間の生活などの「がん患者の相談」と続きます。また、虐待関係や苦情相談もセンターに寄せられることがあります。相談は患者さんからだけでなく、ご家族からも受け付けてい



相談スペースはきちんと壁で仕切られた個室なので、プライベートな情報までさらに安心してご相談いただけます。

医療機関の特色を生かして 地域医療の向上を

ます。新型コロナウイルス感染症対策がなされるようになってから、電話での相談も増えてきています。

併設するがん相談支援センターでは、研修を受けた専門相談員がお話を伺います。相談内容としては症状、副作用、後遺症についての相談が一番多く、抗がん剤の影響で食事がとれない、患者さんにどのように接していいかわからないという相談など、日常生活への支援や精神的な支援を行っています。

——地域医療連携について教えてください。

入院・手術・専門科の診療が必要な患者さんが地域の診療所から当院を紹介され入院治療を行います。退院後定期的な経過観察が必要な患者さんには、通いやすい自宅近くの診療所を紹介します。また、CTやMRIなど検査のみの患者さんもお受けしています。

がん地域連携パスは地域の診療所でのがん治療をしながら、検査や入院が必要な治療は当院で行い、連絡を取り合い情報交換しながら、患者さんを診察するシステムです。

移動や予約など、患者さんの負担を減らし、かかりつけの医療機関に診ていただける安心感とともに、当院で検査と適切な治療が行えます。

そのほかに、地域の医療水準の向上を目的に、地域の医療機関に向けて研修会やセミナーを行っています。さらに年4回、地域の先生方と意見交換の場を設けています。

意見交換の成果の一つに「本日、速やかに患者さんを受けてほしい！」という登録医の先生からのご要望でセンターへの救急専用回線が設置されました。診療科選択で混乱することなく、スムーズに治療につながるようになりました。

また、患者紹介時の診療情報提供書も診察当日ではなく、事前に送っていたくシステムを一部の診療科で導入し、診察時の準備も事前にできるため、診察もスムーズになりました。

さらに連携を深めるために、地域の医療機関との顔の見える関係づくりを進めようと、診療所訪問を行っています。地域の先生方と直接お話し、率直なご意見やご要望を伺うことでスムーズな受診につなげていきたいと考えています。

——登録医というのはどのような医師のことを指すのですか。

地域の医療を向上させるために、当院とかがりつけ医療機関の緊密な連携を図る必要があります。茅ヶ崎市内または近隣の245の診療所の医師が登録されています。

内科、外科はもちろん、産婦人科、眼科、歯科、精神科など幅広い診療科の医師が登録

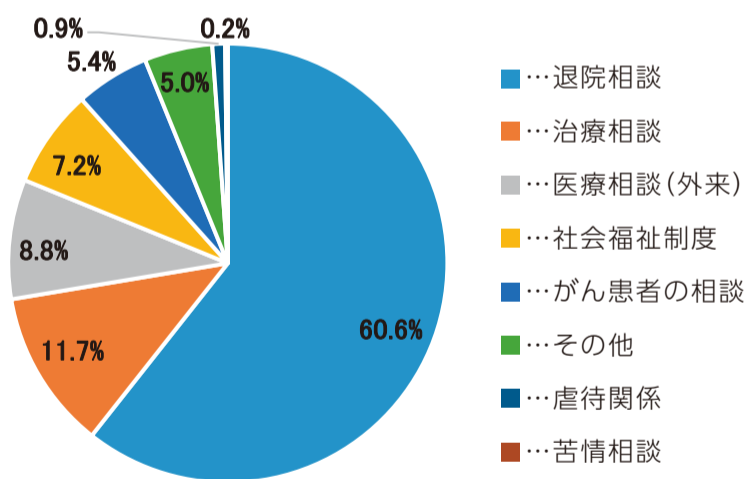
困っている人には 積極的に働きかけ

しています。登録医より紹介された患者さんが市立病院に外来受診される場合、病院担当医と登録医がともに主治医となり、協力して診療をすすめています。入院の場合も退院後は紹介元の登録医が主治医となりますが、病院の主治医と登録医が共同で患者さんの診療にあたります。身近なかかりつけの医療機関と総合病院がそれぞれの特長を活かして、市民の皆さんの健康の維持をお手伝いします。

——患者支援センターは新しい場所に移転し、スペースも充実するそうですが、利用者の皆さん、地域の皆さんに伝えたいことはありますか。

移転後は相談室も遮音性の高い個室となり、今まで以上に周囲を気にすることなく相

患者支援センター相談内容(令和3年度)



江崎恵美 担当長
(看護師長)

「病気になると、ご本人やご家族がいろいろ悩まれることもあると思います。そんなときは患者支援センターに来ていただいて、不安な事をご相談いただけたら全力で支援してまいります。」

「令和4年4月からセンター所長に着任しました。当センターには、日々様々な相談事が寄せられています。センターの職員は、患者さんに寄り添う姿勢を大切に業務に当たっています。」



益原奈美 患者支援センター所長
(診療部長・眼科部長兼任)

談できる環境を整えることができました。

患者支援センターは皆さんにとって身近な場所です。ささいなことでもご相談してください。地域の情報や結びつきを大切にして、皆さんに寄り添い必要とされている答が見つかるように、職員一人ひとりが努力しています。ぜひ、ご利用ください。

(※1) クリニカルパス 退院までの診療内容などをスケジュール化し、分かりやすくその道筋を示したものを

患者支援センターが移転しました

令和5年1月、茅ヶ崎市立病院本館1階リハビリテーション科の横に患者支援センターが移転しました。新たなお部屋で皆様に安心してご相談いただけるように努めてまいります。



新しい患者支援センターは、相談ブースが個室になり、今まで以上にプライバシーに配慮した構造となっており、安心してご相談いただけます。

入退院支援センターと隣接するので、今まで以上にスムーズに連携が図られます。



放射線治療機器の稼働遅延について

市立病院通信第8号にてお知らせしました放射線治療機器の稼働について、「令和5年3月」の稼働予定としておりましたが、機器の納品の遅れにより、「令和5年5月」に変更となりました。ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

経営形態の変更

多様に変化する医療環境や医療ニーズに対して迅速に対応していくため、令和5年4月1日から次の表のとおり経営形態を変更します。

経営形態の変更後も、茅ヶ崎市が運営する市立病院であることに変わりはありません。

新たに就任する病院事業管理者の下、引き続き地域の基幹病院として、高度で良質な医療や、一般的に収支均衡が難しいとされている小児医療、周産期医療及び救急医療を提供するなど、市民の皆様の安全・安心を支えていきます。

	現在	令和5年4月1日以降
経営形態	地方公営企業法の <u>一部適用</u>	地方公営企業法の <u>全部適用</u>
病院事業の代表者	市長	病院事業管理者

定期的な受診が大切!

茅ヶ崎市立病院 人間ドックのご案内



頭部MR検査に使用される3.0テスラMRI装置

- ◆精密検査や治療が必要な場合、本院の予約が可能で人間ドックのデータが活用できます。病院を探す手間や再度同じ検査を行う負担を軽減できます。
- ◆独立した施設で落ちついた環境での受診ができます。
- ◆午前中に検査、午後には結果説明と医師による健康指導を行います。
- ◆富士山を望む眺めのいい院内レストランにご昼食を用意しています。
- ◆内視鏡検査は、内視鏡センターでの鎮静下内視鏡検査への変更も可能です。

実施日 月・火・金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前8時30分から

料金 Aコース **49,500円**・Bコース **38,500円**
(ともに消費税込)

オプションも充実

- ▶ 頭部MR検査 39,600円
- ▶ 腫瘍マーカー検査 4,400円
- ▶ 婦人科系検査(女性のみ) 2,200円
- ▶ C型肝炎検査 1,320円
- ▶ HPV検査
- ▶ PSA(前立腺)検査(男性のみ) ... 1,760円
- ▶ (婦人科系検査受診者のみ) ... 1,730円
- ▶ H・ピロリ菌抗体検査 1,650円
- ▶ 外科系検査
- ▶ エイズ検査 1,430円
- ▶ (乳房視触診・マンモグラフィ) ... 3,300円
- ▶ 梅毒検査 510円
- ▶ トモシンセシス(3Dマンモグラフィ)
- ▶ (外科系検査受診者のみ) 6,600円
- ▶ バリウムから内視鏡への変更 ... 3,300円
- ▶ 骨密度測定検査 880円
- ▶ 鎮静剤使用 2,200円
- ▶ CA125検査(女性のみ) 1,760円

お申し込みについて

予約制となります。
受診希望日の2週間前までに、電話か、直接来院してお申込みください。健康保険組合に加入されている方は、組合経由でお申し込みください。

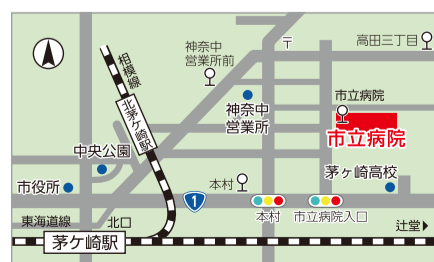
健康管理センター

電話 0467-52-1566(直通)
受付時間 午前8時30分から午後5時、月～金曜日(祝日、年末年始を除く)

紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、市立病院など200床以上の地域医療支援病院で選定医療費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに市立病院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として医科は7,700円(税込)、歯科は5,500円(税込)をご負担いただけます。



茅ヶ崎市立病院

☎0467-52-1111

- ◇ 受付時間 = 午前8時30分～11時
- ◇ 診療時間 = 午前9時～午後5時
- ◇ 休診日 = 土・日曜日、祝日、年末年始